

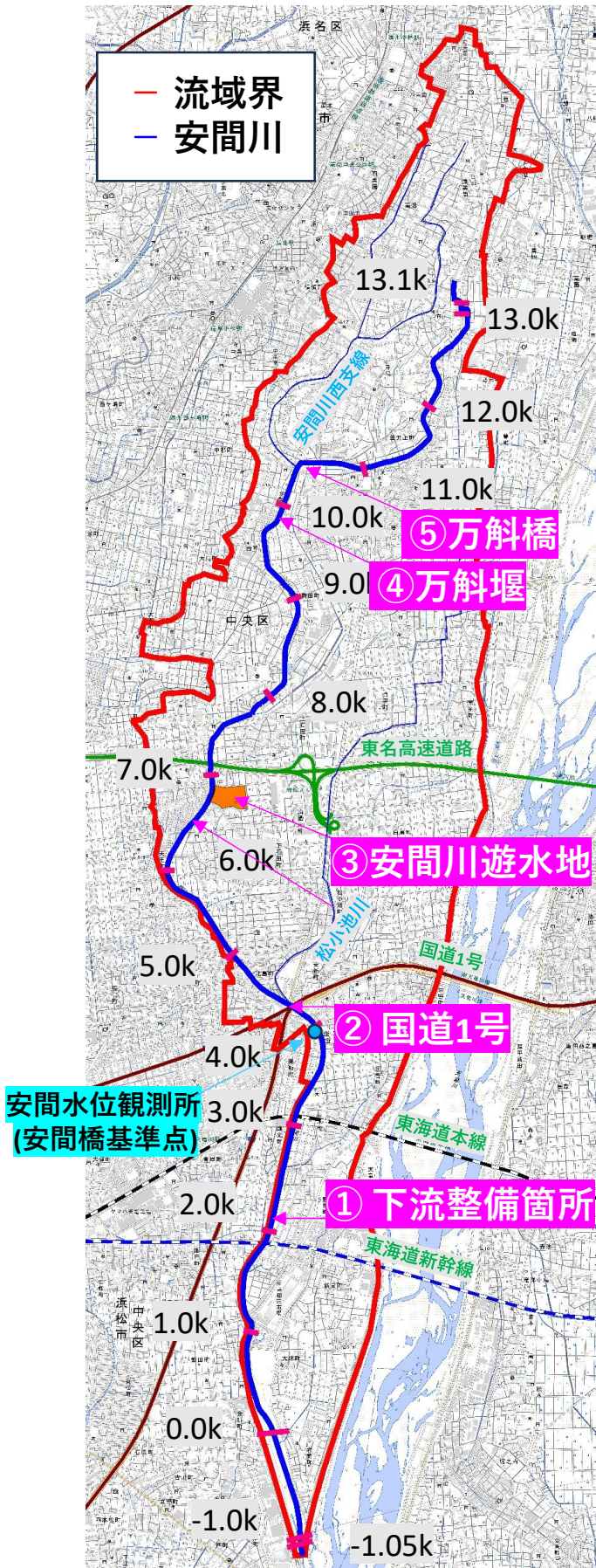
第1回 安間川流域委員会

現地視察資料

令和7年3月6日

静岡県浜松土木事務所

現地視察箇所図



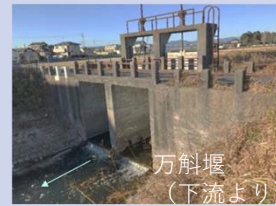
⑤ 万斛橋 (10.3k上流)

- 万斛橋の狭窄、万斛橋上流の河積不足により上流の笠井地区で浸水被害が発生



④ 万斛堰 (9.9k上流)

- 安間川に残置されている3堰のうち最上流の堰



③ 安間川遊水地 (6.7k~6.9k)

- 安間川遊水地：平成30年度に暫定運用開始
- 平成27年9月降雨等の近年洪水において、減災効果を確認



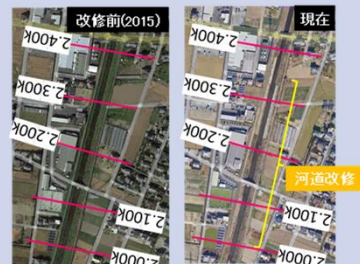
② 国道1号付近 (4.3k付近)

- 国道1号線他、多数の橋梁が集まっている
- 松小池川合流により、局所的に川幅が大きい
- 将来計画における限界流量(150m3/s)既定地点



① 下流整備箇所 (2.0k~2.4k)

- 整備計画改修を下流より順次進めている。(護岸整備、河道掘削)



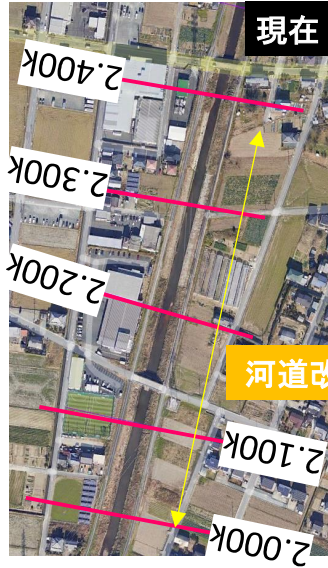
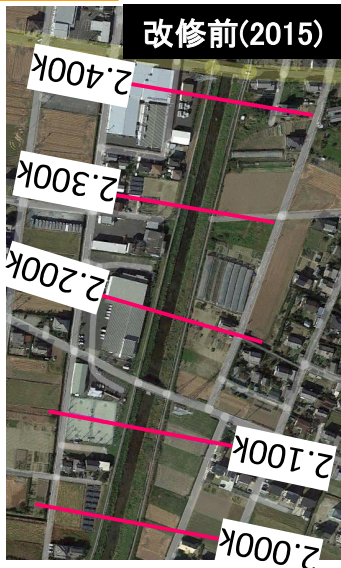
第 1 回安間川水系流域委員会 現地視察行程表

令和 7 年 3 月 6 日 (木)				
No	時刻	所用時間	視察内容	備考
	13:00	－	浜松土木事務所 発	浜松総合庁舎1階駐車場に12:55集合
(移動20分)				
①	13:20	10分	下流整備箇所	フットサルコート of 駐車場に駐車
	13:30			
(移動15分)				
②	13:45	20分	国道 1 号付近	安間川公園に駐車
	14:05			
(移動15分)				
③	14:20	5分	安間川遊水地	遊水地の駐車場に駐車
	14:30			
(移動10分)				
④	14:40	5分	万斛堰	万斛堰付近に駐車
	14:40			
(移動10分)				
⑤	14:50	10分	万斛橋付近	万斛橋東の工場に駐車
	15:00			
(移動30分)				
	15:30	－	浜松土木事務所 着	

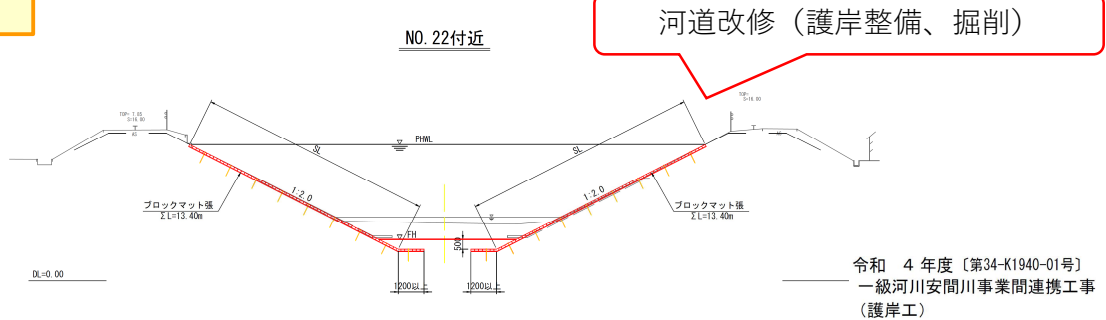
①下流整備箇所【2.0-2.4k付近】

- 整備計画における河道改修を下流より順次進めている。
- 現時点においては、2.0-2.3k上流(東竜光橋の下流)まで改修を進めている。

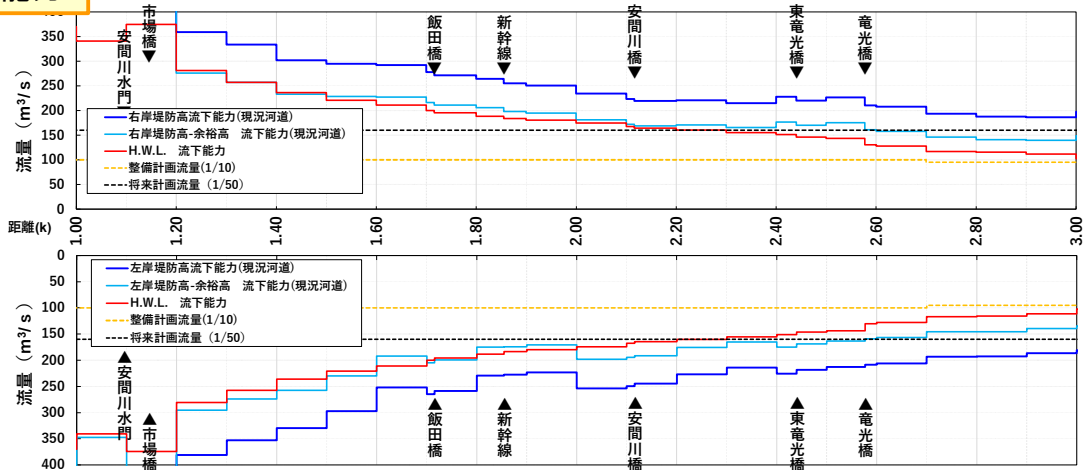
2.2k付近 状況



標準断面図



現況流下能力

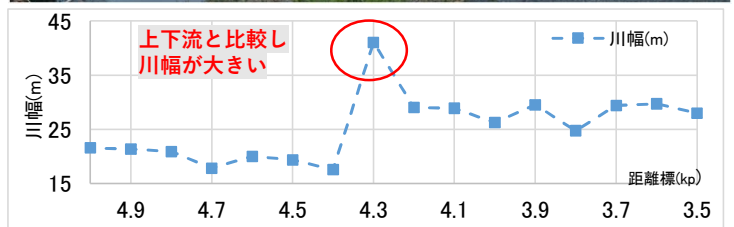
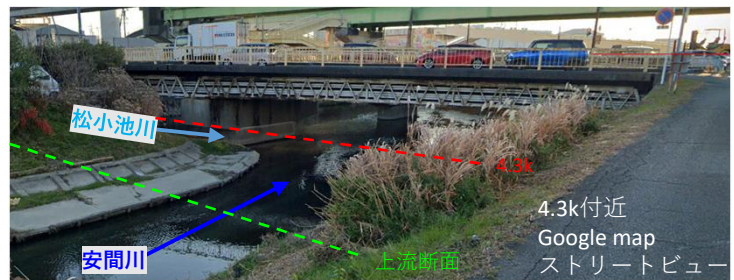
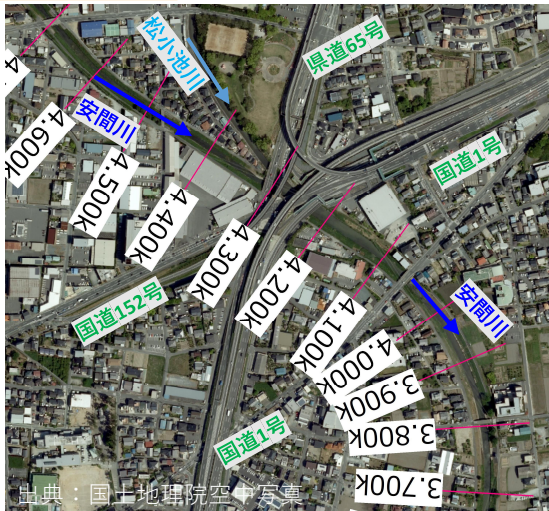


1.0k-3.0k 現況流下能力図

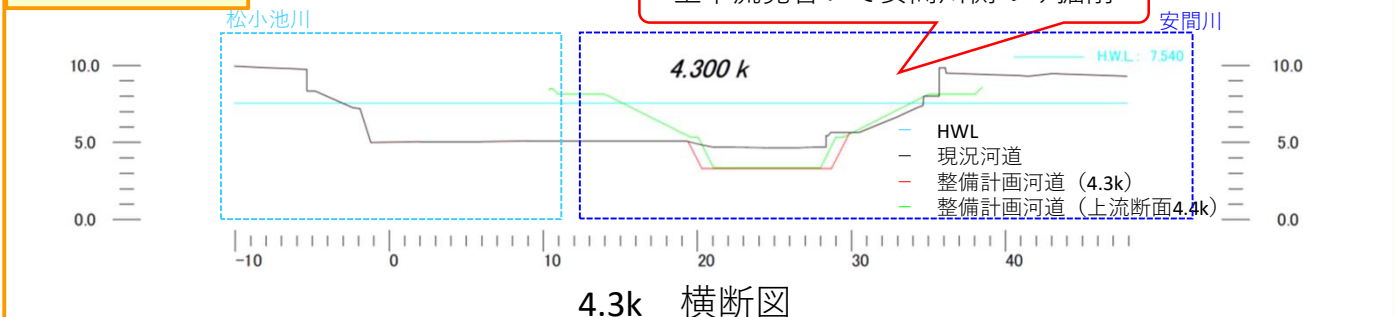
②国道1号付近（三ツ合橋）【4.3k付近】

- 国道1号、県道65号他、多数の橋梁が集中している。
- 4.3k地点は、松小池川の合流点であり、局所的に川幅が大きい。
- 将来計画においては、4.3k地点が限界流量(150m³/s)の既定地点となる。

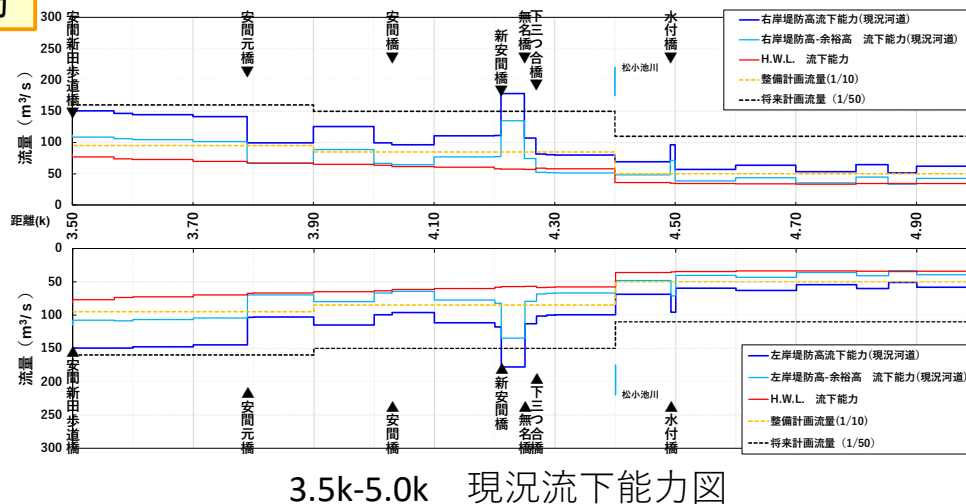
4.3k付近 状況



整備計画横断面



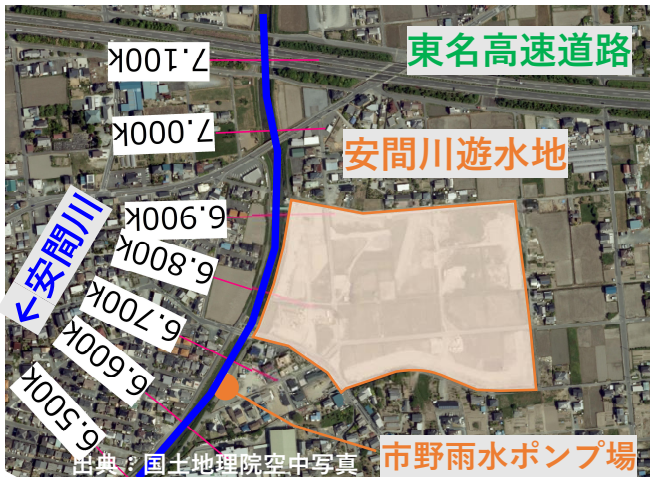
現況流下能力



③安間川遊水地【6.7k上流】

- 安間川遊水地は、平成30年に暫定完成(V=12.8万m³)し、運用が開始されている。
- 平成27年9月降雨等の近年洪水において、減災効果を確認している。
- 整備計画完了時点においては、さらに容量を増大し、越流堤高を切り下げる。

安間川遊水地

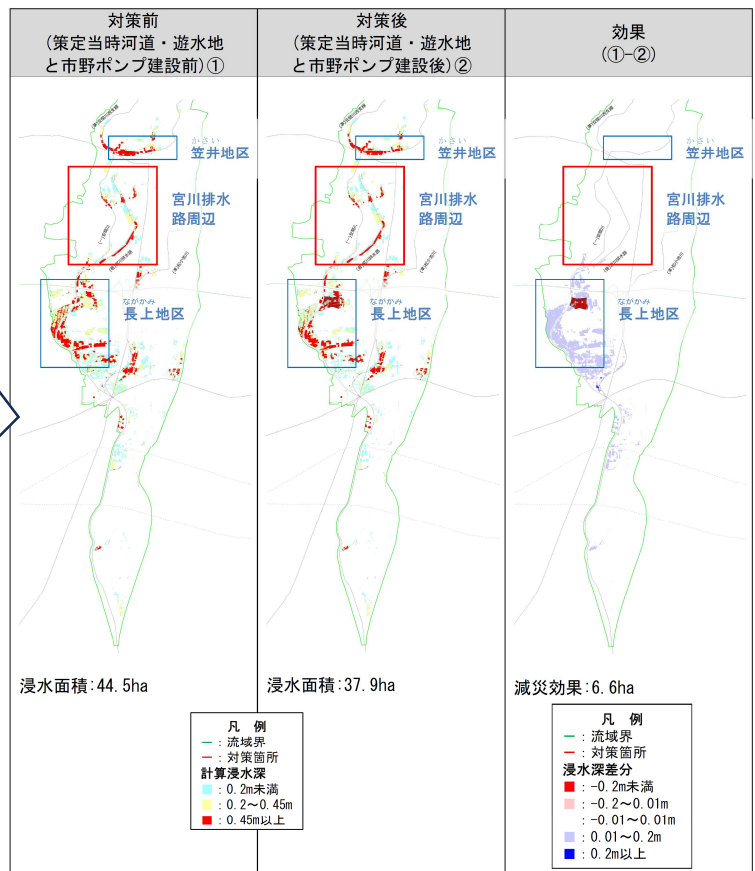


遊水地の計画規模

項目	整備計画完了時点	暫定完成(H30)
位置	左岸6.7k~6.9k	
容量(V)	147,024 m ³	127,925 m ³
面積(A)	6.6 ha	6.6 ha
越流堤高	T.P.+ 8.0m	T.P.+ 8.6m
越流堤幅	65 m	65 m

治水対策(遊水地)の効果

これまで実施してきた治水対策
 ・安間川 6.70k~6.90k 左岸遊水地
 ・6.70k 左岸の市野雨水ポンプ場
 (2.80m³/s : H30.2 運用)
 による減災効果は、
 平成27年9月降雨では氾濫面積が
 6.6ha 程度減少し、
 浸水深は長上地区で最大 11.4cm
 程度低減することを確認した。

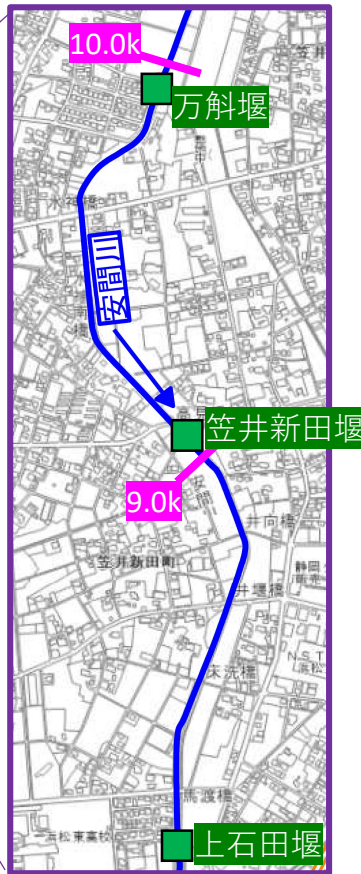
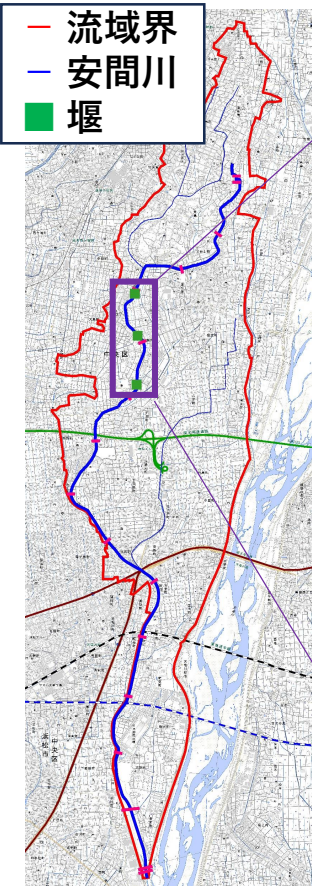


出典：天竜川水系安間川水災害対策プラン (R6.3変更)

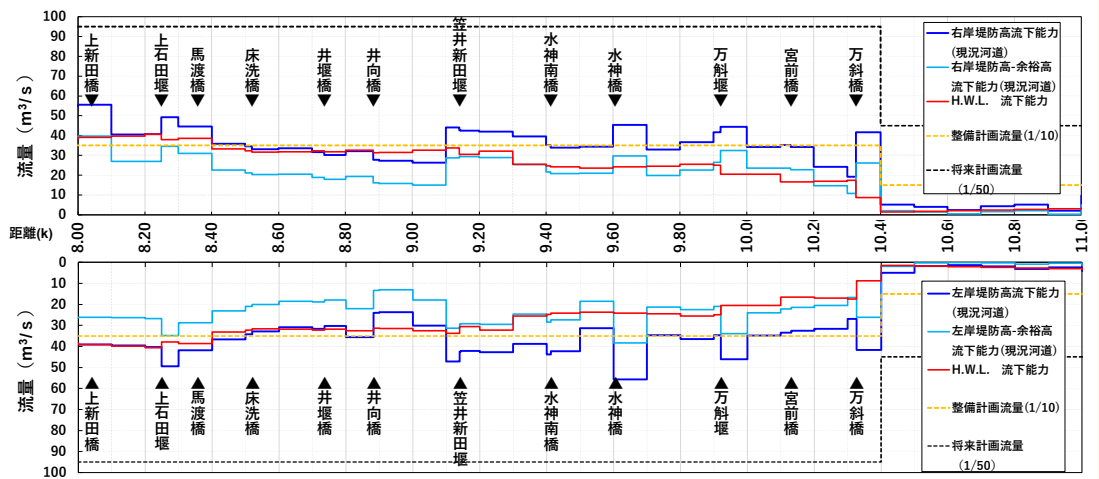
④万斛堰【9.9k上流】

- 安間川では、昭和40年当時、7箇所で堰による農業用水の取水が行われていた。
- 近年は大規模な土地改良事業によって新たな用水路が整備されたため、7箇所あったが、現時点では撤去され3箇所となっている。

万斛堰付近 状況



現況流下能力



8.0k-11.0k
現況流下能力図

⑤万斛橋【10.3k上流】

- 万斛橋地点では、狭窄による水位の堰上げが発生している。
- 万斛橋上流は、下流側と比較して河積が小さく、整備計画流量に対する流下能力が不足している。
- 上流の笠井地区では、近年浸水被害が多く発生している。

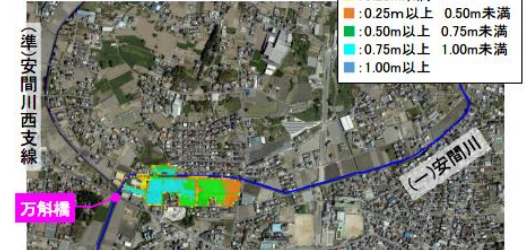
万斛橋付近 状況



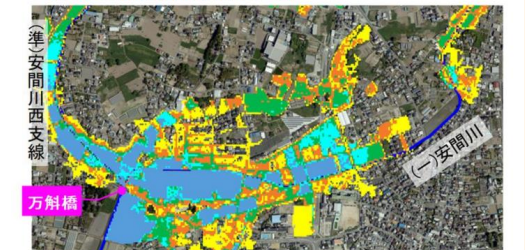
H27.9洪水



R1.7洪水

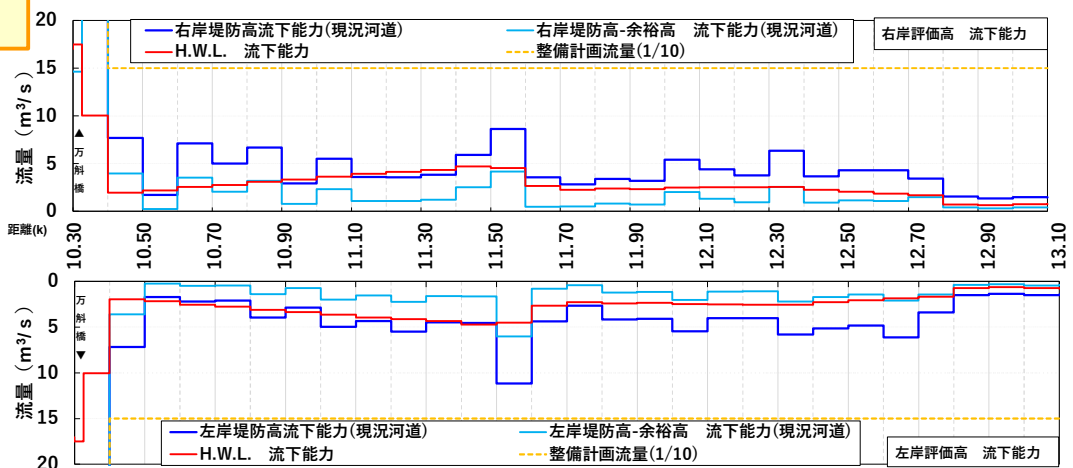


R4.9.23洪水(台風第15号)



実績浸水図
(浜松市浸水区域調査)

現況流下能力



10.3k-13.1k 現況流下能力図

【参考1】現況流下能力図

